

令和3年9月28日

日本風力サービス株式会社
代表取締役 倉田 隆広 様

日本野鳥の会石川
代表 中村正男
〒929-1125 石川県かほく市宇野気 1-71

公益財団法人日本野鳥の会
理事長 遠藤 孝一
〒141-0031 東京都品川区西五反田 3-9-23 丸和ビル

(仮称)珠洲大谷峠ウィンドファーム事業に係る計画段階環境配慮書への意見書

貴社が作成された(仮称)珠洲大谷峠ウィンドファーム事業に係る計画段階環境配慮書(以下、配慮書という)における事業実施想定区域(以下、計画地という)には、地域の生態系ピラミッドの頂点に立つ希少な猛禽類が多く生息しており、また、小鳥類の渡りが多い場所です。そのため風力発電施設(以下、風車という)の稼働後には、バードストライクや障壁影響を含む生息地放棄等が発生することが大きく危惧されます。また、既設並びにすでに計画が進められている他の風力発電事業も多数存在するため、下記の配慮と対応を求めます。

記

1. 能登半島には既設および現在計画中の風車が多数存在しています。特に計画地に隣接した稼働中の珠洲風力発電所、更に計画中の(仮称)宝立ウィンドファーム事業との立地から鳥類や自然環境に及ぼす累積的影響を評価しなければなりません。
2. 計画地周辺は調査が行われていない空白地であり、詳細な調査を行う必要があります。計画地にはミサゴ、ハチクマ、オオタカ、サシバ、ノスリ、ハヤブサ等の希少猛禽類が多く繁殖し、採餌場所にもなっていると推測されます。また、クマタカは能登地方での生息範囲を徐々に広げていることも確認しており(少なくとも輪島市までは確認されている)、計画地にクマタカが生息している(あるいは今後生息する)可能性があります。さらに、ミゾゴイの繁殖の可能性もあります。このような区域では生息地放棄、繁殖阻害、バードストライクが生じることを念頭においた詳細な調査が必要です。
3. かつて能登全域は、シベリア方面から渡ってくるツグミ類を主な対象としたカスミ網猟が行われていた地域であり、多くの小鳥類が渡っていることが分かっています。小鳥類の多くは夜間に渡るため、夜間におけるバードストライクの発生を念頭においた詳細な調査(レーダー調査等)が必要です。
4. カモ類は日本海を直接横断して大陸へ渡ることが確認されており(文献 1, 2)、七尾湾等に多数生息するカモ類が計画地を通過する可能性があります。そのため、カモ類の夜間のバードストライク発生を念頭においた調査が必要です。
5. 風車稼働後は事後調査を実施し、バードストライクの有無や生息する鳥類、特に猛禽類の繁殖ペアの分布や飛翔パターン、生息状況等が事業後にどのように変化するのかを確認し、風車稼働による影響を検証すべきです。また、バードストライクの有無を監視する仕組みを構築する必要があり、第三者を入れた検討体制を作り、バードストライクが多発した場合は、事業者のみでなく第三者となる有識

者も入れて検討する機会を設け、対象となる風車の稼働停止、さらに定常的に発生する場合には、風車の撤去を影響の軽減策に盛り込むべきです。なお、事後調査結果、バードストライクの発生事実、その対策検討結果等は公表されるべきです。

6. 環境アセスメント制度における配慮書、方法書、準備書等の貴社が作成したアセス図書がダウンロードや印刷できないのは、著作権者である貴社の意向によるものです。しかし、パソコン上にダウンロードおよび印刷して閲覧できないことは非常に不便であることから、貴社は利用者から申請があれば、ダウンロードおよび印刷を可能にすべきです。

以上

引用文献

文献1: Satellite telemetry of the annual migration of Baikal Teal *Anas formosa* wintering at Katano-kamoike, Ishikawa, Japan. Ornithological Science 14: 69-77.

文献 2: Spring Migration Routes of Mallards (*Anas platyrhynchos*) that Winter in Japan, Determined from Satellite Telemetry. Zoological Science 25: 875-881.